

安全情報

2015 年 1 月 20 日

非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
採取責任医師 各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
事 務 局

自己末梢血造血幹細胞採取時における死亡事例

2013 年 8 月に北里大学病院で自己末梢血造血幹細胞採取（以下末梢血幹細胞採取）をされた患者さんが死亡した事例が報告されました。末梢血幹細胞採取の際に、右頸部静脈にカテーテルを挿入する際、誤って動脈を穿刺してしまったことと、抗凝固薬を通常より多く投与したことによるものです。詳細については別紙当該施設の報告書をご参照ください。

なお、当該症例は患者ご自身からの末梢血幹細胞採取であり、非血縁ドナーからの採取ではありません。また、日本国内における非血縁ドナーの末梢血幹細胞採取術では、頸部からの採取は禁止しています。

◎情報

- ・患者： 60 歳代
- ・自己末梢血幹細胞採取のための処置中、右頸部静脈にカテーテルを挿入する際、誤って動脈を穿刺し、さらに抗凝固薬を通常より多く投与してしまった。その結果、右頸部の巨大血腫が気道を圧迫し、閉塞したため低酸素脳症となり、11 日後に多臓器不全のため死に至った。

以上

問い合わせ先

(公財)日本骨髄バンク

ドナーコーディネート部 折原・橋下・川原

TEL 03-5280-2200 / FAX 03-5283-5629